

特別支援教室だより

令和6年 9月 吉日
巡回拠点大杉東小学校
特別支援教室通信

今年度の「特別支援教室だより」では、『身体の動き』に関する児童の困りに対して、「その困りの原因は?」「何がしてあげられるの?」といった視点で、巡回指導教員が考えた家庭でできる支援方法を掲載いたします。

【 今回のテーマ 】

相手の動きを見て、真似することが苦手な子

【 こんなことが考えられます 】

相手の動きを見て、真似をするということは、注目する・見続ける・記憶する・予測する、という手順で構成されています。これらのいずれかに苦手があると、対象を見て真似することが難しくなるかもしれません。

【 こんな運動をしてみてもいいでしょう 】

くうちわを使って、ビニール袋を動かそう！>

今回は、ビニール袋とくうちわを使っての活動を紹介します。

ご自宅でもできる活動なので、ぜひやってみてください。



ビニール袋に空気を入れて結んだら準備は完了です。
(なるべく広い所で、周りの物に気を付けて行ってください。)

①二人組になって、ビニール袋を相手の方に向けて、くうちわで扇ぎます

風の強さを変えることで、相手にとって返しやすしたり、返しづらくしたりすることができます。

②相手から返ってきた、ビニール袋をよく見て、また相手の方に送り返します。

※ビニール袋を何回往復できるか目標を設定したり、相手の正面に上手く返せたら点数を入れるなどのゲーム方式にしたりすることもできます。

☆ビニール袋を結んで使うことで、動きが比較的ゆっくりになり、目で見て捉えやすくなります。また、応用として、片手でくうちわを持ち、ビニール袋を落とさないように打ち上げることで、見る力だけでなく、空間認知力を養うことにもつながります。

本校には5名の巡回指導教員がいます。「特別支援教室」について、ご質問がありましたらご連絡ください。

また、本校のホームページに「特別支援教室だより」のバックナンバーも掲載しておりますので、ぜひご覧ください。

ホームページのQRコードはこちら 

